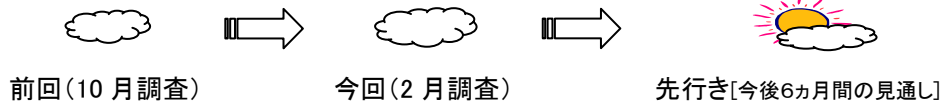




都内企業の景況感

—第111回企業動向調査結果 平成24年2月実施—



◎ 都内の中小企業の景況は回復の動き。先行きは改善が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、東日本大震災の影響から回復しつつあり、自社業況判断 DI*は前回の-10.4 から今回-0.6(前回予想-5.1)とマイナス幅を9.8ポイント縮小しました。先行きについても改善し、同DI*は小幅ながらもプラスに転じる見通しです。
2. 売上高DI*は、前回の-13.8 から今回-2.4(前回予想-6.5)に11.4ポイント、経常利益DI*は、-12.4 から-6.2(前回予想-5.8)へ6.2ポイント、それぞれ改善しました。先行きは両DI*とも上昇する見通しです。
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは今回-15.0と低下、仕入れ価格DIも13.7に低下しました。先行きは、販売価格DIは低下が続きますが、仕入れ価格DIは上昇する見通しです。
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、今回-2.7と前回の2.8からマイナスに低下する一方で、運転資金需要DI*は前回の4.8から今回8.2へと上昇しました。先行きは、両DI*とも上昇する見通しです。
5. 金融機関借入難易感DIは16.4とほぼ前回並み、資金繰りDIは0.8とプラスになり改善しました。
6. 経営上の問題点では、「売上不振」がシェアを16.6%に低めたものの前回に引き続き第1位となりました。第2位の「同業他社との競合」は16.4%とシェアを低めましたが、第3位の「人材難」は11.7%と前回の5位から順位をあげました。第4位「取引先からの値引き要請」は10.3%とほぼ横ばい、第5位は、前回3位の「原材料高・仕入価格高」で9.5%とシェアを低めました。第6位は「人件費等経費の増加」で5.7%、第7位は「円相場の変動」で5.6%のシェアとなりました。

(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	先行き
自社業況判断 DI*	-10.4	⇒	-0.6	⇒	0.6
売上高 DI*	-13.8	⇒	-2.4	⇒	1.2
経常利益 DI*	-12.4	⇒	-6.2	⇒	-3.7
販売価格 DI	-9.3	⇒	-15.0	⇒	-19.8
仕入れ価格 DI	16.4	⇒	13.7	⇒	15.4
製商品在庫 DI*	-12.4	⇒	-14.0	⇒	...
設備資金需要 DI*	2.8	⇒	-2.7	⇒	4.3
運転資金需要 DI*	4.8	⇒	8.2	⇒	9.1
金融機関借入難易感 DI	16.5	⇒	16.4	⇒	...
資金繰り DI	-2.7	⇒	0.8	⇒	...
(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
売上不振	18.1	⇒	16.6		
同業他社との競合	16.9	⇒	16.4		
人材難	9.7	⇒	11.7		
取引先からの値引き要請	10.0	⇒	10.3		
原材料高・仕入価格高	11.7	⇒	9.5		
人件費等経費の増加	4.8	⇒	5.7		
円相場変動	6.5	⇒	5.6		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は、自社業況判断、売上げ、経常利益、設備資金需要の4指標の平均値(前回 -8.5、今回 -3.0、先行き 0.6)で判断したものの、前回は「うす曇り」、今回は「うす曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標にはマークなし。 4. 「先行き」、「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。